

全国町村会主催の都市・農村共生社会創造シンポジウム
「農業・農村の将来ビジョンをエネルギー自給戦略から考える」に
千葉エコ・エネルギー代表取締役の馬上丈司が登壇

千葉エコ・エネルギー株式会社（本社：千葉県千葉市、代表取締役：馬上丈司）の代表取締役である馬上丈司が、2024年5月10日（金）に開催される全国町村会主催の都市・農村共生社会創造シンポジウム「農業・農村の将来ビジョンをエネルギー自給戦略から考える」に登壇いたします。

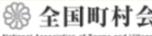
全国町村会 都市・農村共生社会創造シンポジウム

農業・農村の将来ビジョンを
エネルギー自給戦略から考える

■日時 2024年5月10日(金)13:30～17:20（開場13:00）

■会場 全国町村会館2Fホール（※会場参加のみ、WEB中継はありません）

東京都千代田区永田町1-11-35・東京メトロ「永田町」駅3番出口

■参加費 無料 ■定員 150名 ■主催 全国町村会 

■協力 一般社団法人 共生エネルギー社会実装研究所 

農村地域には、太陽光や小水力、バイオマスなど、多くの再生可能エネルギーが賦存しており、自然エネルギーの宝庫と呼ばれています。一方、その利活用は不十分であると言われており、自治体の現場では厳しい状況にある農業問題への対応や、人口減少に伴う地域社会の維持に向けた取り組みが一層求められています。農業・農村の現場では、営農型太陽光発電など、自然エネルギーを利活用した営農も進みつつあります。

千葉エコ・エネルギーでは、日本における営農型太陽光発電の専門家として、「新しい農業のカタチ」として社会を支える営農型太陽光発電の普及・発展に努め、持続可能な社会の実現を目指しています。そうした中、2024年5月10日（金）に開催される、全国町村会主催の都市・農村共生社会創造シンポジウム「農業・農村の将来ビジョンをエネルギー自給戦略から考える」に、弊社代表取締役の馬上丈司が登壇いたします。

本シンポジウムでは、農業・農村におけるエネルギー自給の必要性や、営農型太陽光発電など、自然エネルギーを利活用している実践者や研究者など、各界から12名が登壇し、様々な視点や取り組み事例から、農業・農村の将来ビジョンを探ります。

■ 都市・農村共生社会創造シンポジウム「農業・農村の将来ビジョンをエネルギー自給戦略から考える」概要

- ・日 時：2024年5月10日(金) 13:30～17:20
- ・会 場：全国町村会館 2F ホール（東京都千代田区永田町1-11-35）
- ・定 員：150名（参加費無料）
- ・主 催：全国町村会
- ・プログラム

第1部：農業・農村のエネルギー自給戦略はなぜ必要か（50分）

第2部：エネルギー自給農業にどう取り組むか（60分）

グループディスカッション（20分）

第3部：全体ディスカッション：農業・農村の将来ビジョンをどう描くか（70分）

- ・本イベントに関する問い合わせ・申し込み先：

全国町村会 経済農林部

TEL：03-3581-0485 E-Mail：keinou@zck.or.jp

※開催方法はオフラインのみで、Web等での中継はございません。

※登壇者などプログラムの詳細は、以下の案内チラシをご覧ください。

<https://www.zck.or.jp/uploaded/attachment/4718.pdf>

■ 千葉エコ・エネルギー株式会社について

千葉エコ・エネルギー株式会社は、千葉大学発の環境・エネルギー系企業です。弊社の営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）に関する取り組みは、農林水産省の優良事例としても取り上げられ紹介されており、G20などの国際会議でも発信されております。海外からの視察受け入れだけでなく、シンポジウム国際的な学術フォーラムへの登壇なども行っており、世界的に信頼される営農型太陽光発電のスペシャリストとしての地位を確立しています。

会社名：千葉エコ・エネルギー株式会社

代表者：代表取締役 馬上 丈司

所在地：〒263-0022 千葉県千葉市稲毛区弥生町 2-15 西千葉浪花ビル 3F

設立：2012年10月

URL：<https://www.chiba-eco.co.jp/>

■ 報道関係者のお問い合わせ先

千葉エコエネルギー株式会社 担当：金子・榎井

TEL：043-301-6998 E-Mail：keisuke_kaneko@chiba-eco.co.jp